

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 15 日 (20 : 10 ~ 20 : 25)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 永島・大畑・中村・佐藤・中谷・上田・中野
田上・越村・前野・小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	2人	1人	14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・新規ご利用者についての情報は、ケアマネジャーが作成したアセスメントシートを全職員に配布して、利用開始前に職員が目を通して状況把握をする。・利用開始後については、どの職員もご利用者との関わりから得た情報や気づきを記録や職員間の連絡ノートに残し、全職員が連絡ノートに目を通すことを徹底し、情報共有をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
全職員への徹底は難しいが、昨年より出来ている。連絡ノートを見る習慣はついてはいるが情報の更新についていけないという意見が多かった。配布されたアセスメントシートに更新情報を書き込む等、個々に工夫は必要。また、情報を得ても連絡ノートに書く習慣が出来ていない職員がいる。次回の改善計画も同様の内容にして徹底する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	7	6	1	14
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	12	1	1	14
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	13	0	1	14
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	11	2	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
時間が有る時に情報を伝えたり、聞くようにしている。内部会議での情報共有。内部会議に出席出来ない時も口頭で情報を得るなどしている。慣れていない利用者には職員が積極的に声掛けし、無理の無いよう過ごして頂いている。緊急で利用される時など速やかに受け入れ、少ない情報の中でも職員間で連携をとり、支援を行っている。強制しない、やりたい事をやって頂く。出向き・通いの時、その時々々のニーズに合わせた仕事をするように心掛けている。新規利用者には職員が積極的に声を掛けている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の情報を十分に理解できず適切な支援が出来ているかわからない。新規利用者の情報が事前に伝わっていないことが有る。利用者の詳細な情報はアセスメントシートのみで、更新の情報を記録や連絡ノートには詳細に残せていない。利用開始前のミーティングが出来ていない。情報の共有や気づきが一部の職員に偏っている。利用者に関わる時間が少ない。情報が共有し合えていない。利用者の変化に伴った支援方法が統一されていないことがある。利用者との仕事で関わる以外家族との関わりが少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・新規ご利用者についての情報は、ケアマネジャーが作成したアセスメントシートを全職員に配布して、利用開始前に職員が目を通して状況把握をする。 ・利用開始後については、どの職員もご利用者との関わりから得た情報や気づきを記録や職員間の連絡ノートに残し、全職員が連絡ノートに目を通すことを徹底し、情報共有をする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 15 日 (20:25~20:40)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 永島・大畑・中村・佐藤・中谷・上田・中野
田上・越村・前野・小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	6人	1人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 各職員が受け持つ担当ご利用者（職員2名に対しご利用者4名）がどなたであるかを常に認識して、特に積極的にコミュニケーションを図りながら、ご利用者の「～したい」という言動を見逃さずに記録に残す。 「～したい」という希望を具体的に聞いたら、「どうしたら達成できるか」という視点を持ち、実現できるよう担当ご利用者とケアマネジャーが話し合いケアプランに反映させる。
前回の改善計画に対する取組み結果
ほとんどの職員が担当の認識は出来ているが、日々の業務に追われてのコミュニケーション不足が否めない。また、担当者会議には出席できても、担当利用者に日程を合わせる事が難しい。自分の担当利用者の会議の日程を事前に把握するよう努める。業務の関係で参加できなくても利用者家族に聞いてほしいこと等ケアマネに伝えて聞いてもらう。本人から「～したい」という言葉が聞けなくとも、家族との話からわかる事もある。この点を重要視して次回の改善計画とする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	8	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	6	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	9	0	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	5	7	1	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>担当ご利用者との会話で「外に出たいね」と言われ、送迎車で出掛けたりしている。利用者とは出向きでコミュニケーションをとっている。言葉で「～したい」と表現できる利用者には対応できている。個々に合わせたレクリエーション、全体的なレクリエーションを利用者の話を聞きながら実行するようにしている。一部にご利用者の「～したい」は職員が準備し実現できた。(100歳の誕生会等)</p>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>利用者によっては具体的に「～へ行きたい」との希望を聞くが、そこで止まってしまい、記録に残せていない。職員全員では把握できていない。日々の忙しさにコミュニケーション不足である。意志表示を思うように出来ない方の「～したい」を把握できていない。当面の目標は分かるが最終的なものはなかなか聞けない。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> 各職員が受け持つ担当利用者を常に意識し、特に積極的にコミュニケーションを図りながら、ご利用者の「～したい」という言動を見逃さずに記録に残す。 「～したい」という担当利用者の希望を直接聞けなくとも、ケアマネ訪問時にご本人や家族に聞いてもらうなどして実現できるよう担当ご利用者とケアマネジャーが話し合いケアプランに反映させる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 15 日 (20:40～20:55)

3. 日常生活の支援

メンバー 永嶋・大畑・中村・佐藤・中谷・上田・中野
田上・越村・前野・小松

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	5人	3人	13人

前回の改善計画	<p>・職員が受け持つご利用者担当制を今年度以上に活性化させる為、担当ご利用者の自宅でのサービス担当者会議に担当職員が年度内で1回は参加し、直接ご家族と話をしたり、自宅での環境を実際に見たりする機会を設ける。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>必ずしも担当利用者ではないが、多くの職員が担当者会議に出席できている。自分の担当利用者の会議の日程を事前にケアマネに確認する。業務の関係で参加できなくても利用者家族に聞いてほしいこと等ケアマネに伝えて聞いてもらう。ケアマネや担当者会議に出席した他の職員から情報を得るよう努める。このことを次回の改善計画に織り込む。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	9	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	13	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	5	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	12	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	12	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ご利用者に合わせた介助、基礎的な介護は出来ている。情報の共有は連絡ノートで出来ている。様子がいつもと違ったら他の職員に伝えている・通いの利用者一人ひとり来所時の様子や健康状態を聞き体調不良のご利用者は休んで頂きながら様子観察する等の対応を行っている。将棋や麻雀のボランティアをお願いしたりして希望の実現ができています。本人の変化に対し、現場で意見を出し合って対応を行っている。定期的なミーティングにおいても情報の共有を行っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・ご本人の事を必要以上に把握していない。ご利用者全員の対応で手一杯で担当利用者に特化する事が出来ない。ご本人と家族の相違な考え方に困惑する事が有る。本人の体調や気持ちの変化に気付かない事があると思う。本人の希望などわからない。担当利用者に特化して深く関わる時間が無い。職員により差がある。まずはADLからとなってしまう、QOLは二の次になってしまう。業務に追われて見落としが多い。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・ご利用者担当制を今年度以上に活性化させる為、職員は担当利用者のサービス担当者会議の日程を把握するよう努め、年度内で1回は参加し、直接ご家族と話をしたり、自宅での環境を実際に見たりする機会を設ける。</p> <p>・担当者会議に出席できなくとも、ケアマネや出席した職員から情報を得るよう努める。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 11 月 18 日 (18 : 05~18 : 30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	大畑・中村・上田・中野 越村・高橋・小松・前野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	9人	4人	人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の自宅に行った際、近隣の方に会った場合は、挨拶・声掛けをして関係を保つ。 ・ご利用者との会話に地域の話を取り入れる事を心がけ、近隣との関係性や以前地域でどんな役割を持っていたかの情報を得る。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>会話が難しいご利用者は家族から話を聞いていたとしても情報が入ってこない場合がある。家族や関係者から詳細な情報を得られ、支援に役立てることもできている。送迎や、出向きの際、近隣の方への挨拶は出来ている。より多くの情報が得られることから次回はケアプランに目を通すことを徹底する。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	5	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8	4	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		8	4	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	6	4	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>出向きや送迎の際に近隣の方に会った時、挨拶や声掛けは出来ている。本人の生活や人間関係を完璧には把握していないが、理解は出来ていると思う。個人ファイルに目を通し、生活面や人間関係等は把握するようにしている。地域の方と顔を合わせる機会（散歩・祭り・喫茶等）で関係の支援は行えていると思う。午後の時間、出向き時にその方の背景・思考等をお話し、把握するよう努めている。送迎の際にその日の体調や変わったことが無いか等、お話ししている。ご利用者との会話を通して日常どのような事を思い、過ごされているか感じる事。これまでの生活は新規利用の時、アセスメントシートに記載している。地域の誕生日会に参加したい方の送迎を行ない、出席して頂いた。「自宅では寝てばかり」と家族から訴えがあった方には、訪問リハビリなど有効なサービス利用を提案した。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ご利用者個人々で会話の出来る方・出来ない方で隔たりがあり、スムーズに会話出来ないご利用者は近隣との関係性等の情報を得る事が難しい。事業所で過ごしていない時の生活はあまり知らない。本人の暮らしに必要な民生委員や地域の資源の把握はケアマネや管理者が窓口になっている為、出来ていない。泊り利用が無い方や、通い利用が少ない方の家での過ごし方が分からない。ご利用者個々のこれまでの情報が少ない。言葉でのコミュニケーションが取れない方もいてこれまでの生活スタイルが把握できない。家族と生活している方で問題なく生活できている方については地域の資源等あまり意識していない。人手が無いのでご利用者がやりたいことがあっても実現できない。地域との関係まで把握できていない利用者もいる（現在の本人を見るだけで留まってしまい、そこまで考えが及ばない）。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者との会話に地域の話を取り入れる事を心がけ、近隣との関係性や以前地域でどんな役割を持っていたかの情報を得る。 ・ケアプランからもご利用者の情報を得る。ケアマネはケアプランを更新したら、連絡帳で職員に知らせる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 18 日 (18 : 05~18 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大畑・中村・上田・中野
越村・高橋・小松・前野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	1人	13人

前回の改善計画
 ・ケアマネジャーがご家族のできる事とできない事、その時必要な支援を見極めて適切なサービスを提供する。
 ・ご利用者の好きな事、やりたい事を把握して、一緒にして頂けるような近隣のボランティアを呼び掛ける。

前回の改善計画に対する取組み結果
 その時々適切なサービスを提供することは、事業所として可能な範囲でできている。ご利用者の希望される将棋や麻雀、絵手紙教室をボランティアさんの協力・参加で行っている。ご利用者全員のしたい事・やりたい事は把握できない。スムーズに会話出来ないご利用者、何もしたくないと言われるご利用者がいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	8	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	7	3	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		11	1		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10			12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ご利用者のニーズに応えられていると思う。職員の情報共有の場を日々の連絡帳と決め、出勤時に確認する。内部会議でのカンファレンスやその時のカンファレンスを行っている。気付きノート、職員連絡帳、申し送りなどで共有している。日々の体調に合わせたニーズに応えられている。ニーズに応じて適切なサービスを提供している。訪問などはきめ細かい支援をしている。ご利用者・家族の希望する支援に寄り添うことは出来ている。ボランティアや民生委員、配食等で支援出来ていると思う。最近ではボランティアさんによる絵手紙教室も行っている。本人のニーズや常態に合わせて柔軟な支援が行えている。連絡ノートを出るだけ活用し、情報の収集に努めた。ケアマネが訪問時に家族からお聞きし、適切なサービス提供を行っている。ご利用者の将棋相手が不在の時はボランティアをお願いしている。プラン通りのサービス提供が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ご家族の介護力・地域の資源等を使うことはあまりできていない。事業所で支えることが多い。ご家族の介護力、本人の自発力が少なくなっている感がある。ご利用者から事前に痛み等の訴えがあったにも関わらず連絡不十分で、状況を把握せず自宅に伺ってしまったことがあった。状況が分からず伺った時は、まずご利用者の体調を伺うことが必要。地域の資源を十分に活用できていないと思う。地域の資源を把握できていない。記録から本人の変化に気付く事が少なく、PC記録での振り返りが出来ていない。日々の関わりから本人の変化に気付くが、職員で共有する事が遅くなることが多い。日々変化が激しい為、把握しきれない事がある。些細な事でもPC入力を意識して行う事が必要。多様なサービスが増え、スタッフが揃わない為、ミーティングが行えていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・ご利用者の好きな事、やりたい事を把握して、一緒にして頂けるような近隣のボランティアを呼び掛ける。
 ・ケアプランや連絡帳にてニーズの把握をし、その時々で柔軟な支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 18 日 (18 : 05~18 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 大畑・中村・上田・中野
越村・高橋・小松・前野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	5人	2人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子供とのかかわり作りに取り組み始める。 ・10月のハロウィーンに、職員やご利用者がお菓子の準備や変装をして地域の子供を事業所に招待する事業所開放型の大規模なイベントを計画・実施する。 ・ハロウィーンに向けて、イベント前に近隣小学校や幼稚園に足を運び、ご挨拶して了解を得る。登下校中の小学生には事前にチラシを配ったり、挨拶をしたりする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>ハロウィーンにはチラシを自治会や子供会で配布していただいたり、呼び込み等もして積極的に取り組むことが出来た。沢山の子供達が事業所を訪れ、ご利用者と触れ合うことが出来た。次回からは仮装等にも力を入れ、子供たちにより楽しんでもらえるようにしたい。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	5		6	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		3	1	8	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		6	2	5	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	6	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ハロウィンイベントでは子供たちが一休に足を運んでくれた。地域行事には年2回くらい参加出来ている。自治会のお花見等、ご利用者と同行して親睦を図っている。事業所を訪問される方に気持ちの良い対応を行う事は出来ている。サービス機関との会議は個人的には参加出来ていないが、行えていると思う。必要な利用者には受診同行し、主治医と連携している。短期から長期目標に切り替え時には福祉用具担当者にも参加してもらい、担当者会議を行っている。認知症カフェ会議への参加、防災訓練への参加も出来ている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の方が見学に来られたことはあったが、特定のボランティアさん以外、地域の方が一休に来所されることはほとんど無い。より道一休が地域に浸透していない。気軽に来所できない。閉鎖的である。個人的に自治体や地域支援センターの会議、地域の活動に参加できない。機会がない。イベントの準備・計画は当日出勤職員に限られ、全員で関わることは難しい。地域住民との交流が出来ていない。事業所が狭い為、気軽に立ち寄れる環境ではない。勤務日数が増やせない為、会議等への参加が出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子供を対象とした10月のハロウィーンを恒例イベントにし、担当を中心に職員一丸となって取り組む。 ・運営推進会議に職員が一人一回は参加する。事業所のことを知ってもらうため、出席されたことのない地域の方にも声をかけて運営推進会議に参加して頂く。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 20 日 (17:45~18:20)

7. 運営

メンバー 大畑、中村、佐藤、中谷、尾下、中野、前野、廣田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	2人	1人	12人

前回の改善計画
・毎月19日に実施している喫茶ひとやすみのうち、上半期に1回、地域の方を対象として「ご利用者を行う健康体操」を計画し、実施する。 ・管理者やケアマネジャーなど特定の職員が関わるのではなく、内容の検討やポスター作りなど職員で分担して、職員全員で取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果
8月の喫茶ひとやすみで健康体操を実施した。小規模の説明と共に喫茶ひとやすみと健康体操の事を載せたチラシを一休だよりの裏に印刷し、回覧板に付けていただいた。また、喫茶ひとやすみのボードを作成し、当日外に出すようにしたが、宣伝不足の為か地域の方が来所されなかった。一部の職員が取り組み、全員で取り組む事は出来なかった。もっとアピールが必要ではないか。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	6	4	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	11	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	4	0	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	5	5	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	月1回の内部会議で話し合いの場は設けられており、意見が言える。会議以外の場でも意見交換が出来ている。「大和市民まつり」の模擬店出店に参加協力した。家族から意見・苦情があった場合早急に対応している。音の苦情が有った為、音が外に漏れないよう窓を閉めている。テレビの音量が大きい利用者はイヤホンを使用してもらっている。意見や苦情を受けたら対応方法など考え迅速な対応をしている。利用者家族の意見はナビの時などにも伺う事ができている。伺った意見は申告している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	事業所内で話し合いは出来ているが、地域との話し合いは一部の職員のみ。地域の方々に日頃から一休を知ってもらうようアピール出来ていない。認知症の利用者が多い為、解放的に出来ず地域の方が気軽に出入りし辛いのではないかと。日常の業務で精一杯で地域の方と共同での取り組みをする機会がない。勤務上地域の方と関わる機会がない。事業所の在り方などで思ったことを伝えられていない職員もいる。地域や外部への参加について具体的にどうしたらよいか明確でない。何事も決定されて通達される為職員として意見を言う事が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・地域の方へのアピールも必要だが、まず、利用者の家族に来所してもらえよう働きかける。 ・喫茶の内容はその月のレク担当の職員が決める。 ・一休だよりに喫茶ひとやすみのコーナーを設けて、毎月、日時と内容を告知する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 20 日 (17:45~18:20)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大畑、中村、佐藤、中谷、尾下、中野、前野、廣田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	9人	0人	12人

前回の改善計画
・常勤職員に向けて、行きたい研修内容のアンケートを取って、職員に合った職場外研修を計画的に受講する。 ・パート職員については、市内の小規模多機能型居宅介護事業所への見学を年に1回程度実施する。 ・リスクマネジメントについての職場内研修を年に1回行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
常勤職員に向けて、行きたい研修内容のアンケートを実施したが、受講に至っていない(検討中)。リスクマネジメントの内部研修は行っているが、勤務時間の関係(遅番)で参加出来ていない職員がいる。小規模多機能事業所への見学は下半期に予定している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	6	5	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	5	5	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	1	6	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	10	3	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
月1回の会議で内部研修には参加している。リスクマネジメントも会議の時に報告・検討したり、リスクの研修を行っている。連絡ノートを活用して、リスク防止を行っている。ヒヤリハットや事故が起きた際職員同士が話し合い、対応策を徹底している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職場外研修に参加していない。外部研修に参加する機会が少ない。地域連絡会はほとんどの職員が参加出来ていない。職場の業務が優先であり、人員配置に余裕がない為、参加が難しいのではないかと。資格やスキルアップの研修に参加出来ていない。職員が足りない為、業務で手一杯になっている。勤務時間の関係で職場内研修に参加出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・常勤に向けて行きたい研修内容のアンケートを取って、職員に合った職場外研修を計画的に受講する。 ・パート職員については、市内の小規模多機能型居宅介護事業所への年に一回程度受講する。 ・リスクマネジメントについての職場内研修を年に一回行う。当日参加出来ない職員にも資料を配布する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 年 月 日 (17:45～18:20)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大畑、中村、佐藤、中谷、尾下、中野、前野、廣田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	3人	人	12人

前回の改善計画

- ・ご利用者に関する状態報告を口頭でする場合は、ご利用者がいない場所（廊下や和室）で行う。
- ・ご利用者に関する状態報告を早急に行う必要がある場合（排泄の有無など）の為に、毎日白紙を用意して必要時記入することとする。
- ・身体拘束や虐待防止、プライバシーや個人情報の管理についての職場内研修を1年に1回実施。

前回の改善計画に対する取組み結果

引き継ぎや状態報告はご利用者がいない場所で行うようにしている（廊下や和室等どこへ行ってもご利用者がいる時があるが）。毎日白紙を用意しての記入は一部職員は行っているが徹底されていない。職員の認識不足、また全職員が周知していない為もう1度伝える必要がある。身体拘束や虐待防止、プライバシーや個人情報の管理についての職場内研修は実施出来ている。身体拘束や虐待防止は研修で再認識することがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	8	1	0	13
②	虐待は行われていない	9	4	0	0	13
③	プライバシーが守られている	1	8	3	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している					現在該当者 無し
⑤	適正な個人情報の管理ができている	0	12	0	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

人権を尊重し、ご利用者に寄り添った対応をしている。利用者に関する情報は共有のノートから収集・記入するなどして活用出来ている。プライバシーは守る事が出来ている。小規模施設なので職員の意識は統一されている。個人情報意識して守られている。トイレへの声掛けは他の利用者に聞こえないよう、耳元で声掛けしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者の人数により、狭すぎて昼寝の時などプライバシーが守られていない。居住空間が狭く、職員同士の会話が聞こえてしまう。プライバシーに関して配慮するところはあるが、守られていない事はない。プライバシーに関する口頭報告・情報収集は利用者が居ない、聞こえない場所を選ぶが、そのような場所が少ない。職員の声が大きい。「ちょっと待ってください」と言って利用者の行動を制限している事が有ると思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・ご利用者に関する状態報告を口頭でする場合は、ご利用者がいない場所または聞こえない場所で行う。
- ・ご利用者に関する状態報告を早急に行う必要がある場合（排泄の有無など）の為に、毎日白紙を用意して必要時記入することとする。
- ・身体拘束や虐待防止、プライバシーや個人情報の管理についての職場内研修を1年に1回実施する。